

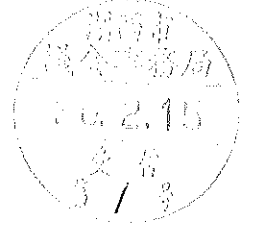
一 般 質 問 通 告 書

30年 2月 15日

前
午 8時 35分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成30年 2月 15日



湖西市議会議長 二橋 益良様

湖西市議会議員 樽 浩幸 (印)

| 質問方式 (○を付ける) | 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答 |
|-----------------|--------------------------|
| 番号 | 主 題 |
| 1 | 地域防災計画の実証性について |
| 2 | 公共施設再配置計画について |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

※ 質問の要旨は別紙参照

| 番号 | 主 題 |
|---|----------------|
| 1 | 地域防災計画の実証性について |
| 質 問 の 要 旨 | |
| <p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>東日本大震災から7年、熊本地震から2年が経過しようとしている。静岡県では「避難所の運営マニュアル」を10年ぶりに見直すとの報道があった。改めて、湖西市の「避難所運営」について、実証性を確認し、今後30年間の発生確率が70%から70~80%へと引き上げられた南海トラフ地震に備える。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>湖西市指定避難所マニュアルでは避難所の運営は自主防災会が主導で行うが、開設については、施設管理者が安全を確保して受け入れるとされている。受け入れ態勢を含めて実証性を確認し、市民の安心安全を確保する。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 震度5強で避難所の開設が行われるが、市指定避難所の鍵の管理は誰が、どこで行うのか。 2. 避難所の施設安全確認は誰が、どの様に行うのか。 3. 施設の安全確認を行える応急危険判定士は何人か、その内、湖西市在住者は何人か。 4. 避難所の収容人数が地域防災計画と学校が持つ避難所利用計画の収容人数と乖離があるが、それぞれの算出根拠は。 5. 市指定避難所に於ける避難所立上げ訓練は何件実施されたか。 6. 静岡県防災教育基本方針にある「防災教育推進のための連絡会議」の実績と成果は何か。また、課題は何か。 7. 市内全ての避難所で計画の実証性を確認する必要があるが執行部局の考えはどうか。 | |

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

| 番号 | 主 題 |
|--|---------------|
| 2 | 公共施設再配置計画について |
| 質 問 の 要 旨 | |
| <p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>平成 29 年 3 月に湖西市公共施設再配置基本計画が策定され、市内中学校区で市民説明会を経て、個別計画(案)が発表されたが、縮減計画面積は基本計画の 20%に対し、10.7%と目標に達していない。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>今後の市民生活にどのような影響が生ずるのか、今後の方策について確認する。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個別計画での縮減目標値が積み上がらなかった主な要因は何か。 2. 個別計画の積み上げが不足した時、市民サービスへの影響はどのような事が、いつごろ、どの程度の規模で予測されるか。 3. 縮減計画面積の積み上げなど、今後の対応はいつ迄に、どの様に行うのか。 4. 基本計画で算出した施設の更新費と維持管理費、年間 44.3 億円は、今後の人口減少、産業構造の変化を踏まえ財政状況を予測する中で確保出来るのか。 5. 削減面積は目標 20%で良いのか。個別計画(案)を踏まえ、執行部局の考えを問う。 | |

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

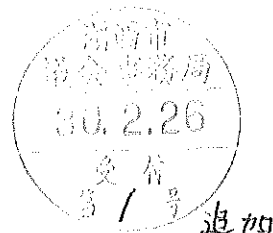
30年 2月 26日

前
午 9時 5分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成30年 2月 26日

湖西市議会議長 二橋 益良様



湖西市議会議員  

| 質問方式 (○を付ける) | 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答 |
|-----------------|--------------------------|
| 番号 | 主 題 |
| 3 | 施政方針について |
| | |
| | |
| | |
| | |

※ 質問の要旨は別紙参照

| 番号 | 主 題 |
|---|----------|
| 3 | 施政方針について |
| 質 問 の 要 旨 | |
| <p data-bbox="223 593 694 627">(質問しようとする背景や経緯)</p> <p data-bbox="215 645 1380 728">市長は 湖西市の厳しい財政状況を鑑み「職住近接」と「稼ぐ力の強化」をキーワードとして平成 30 年度の予算編成を行った。との施政方針を述べた。</p> <p data-bbox="223 801 422 835">(質問の目的)</p> <p data-bbox="223 846 1284 880">「稼ぐ力の強化」について、具体的な施策と期待出来る成果を確認する。</p> <p data-bbox="223 936 391 969">(質問事項)</p> <ol data-bbox="215 985 1316 1104" style="list-style-type: none"> 1. 平成 30 年度、「稼ぐ力の強化」新たに取り組む事業、施策は何か。 2. 新規「稼ぐ力の強化」による成果の額はどの程度を見込んでいるのか。 | |

一 般 質 問 通 告 書

30年2月15日

前
午 9 時 40 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

30年2月15日

湖西市議会議長 二橋益良 様

湖西市議会議員 神谷里枝



| 質問方式 (○を付ける) | | <input checked="" type="radio"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答 |
|-----------------|---|---|
| 番号 | 主 題 | |
| 1 | 災害時における食料の備蓄計画と保有状況について | |
| 2 | 今後の「給食センター建設」と「鷺津・新居中学校の規模縮小」 構想について | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |

※ 質問の要旨は別紙参照

| 番号 | 主 題 |
|---|-------------------------|
| 1 | 災害時における食料の備蓄計画と保有状況について |
| 質 問 の 要 旨 | |
| <p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>毎日新聞に、備蓄食料の管理に関して全国 47 都道府県と 20 政令市にアンケートを行ったところ、過去 5 年の総廃棄量は全備蓄量の 1/4 に当たる 176 万 3,600 食に上り、有効活用のあり方が問われるといった記事(2018 年 1 月 31 日付け)がありました。</p> <p>また、あるイベントに私が参加した際、会場の公共施設の玄関付近に、賞味期限切れ間近とは思いますが「欲しい方はご自由にどうぞ」的なことが書かれた看板と共に、ペットボトル飲料水が箱ごと置いてありました。施設内では「1 箱 50 人分のアルファ米の再利用」の説明があり、数箱、欲しいという方が持ち帰られました。この様子を目の当たりにし「いくら賞味期限切れ間近とはいえ、この様な処分の仕方で良いのか」と疑問を感じました。</p> <p>2013 年農林水産省食料産業局は「食品ロス削減に向けて～もったいないを取り戻そう～」を発表し、本来食べられるのに廃棄される「食品ロス」は年間約 500～800 万トンになると推計し警告を鳴らしています。</p> <p>東日本大震災などをきっかけに「備蓄食料」は、どこの自治体でも確保と廃棄とのジレンマに陥っているとともに、食品ロスへの関心が高まり、有効活用の模索が始まっています。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>備蓄食料を防災目的の用途に限定せず、社会資源としての循環による有効活用を推進する為</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地震対策関係経費のうち、備蓄食料の購入にかかる数量や金額を伺います。 2. 備蓄食料の賞味期限などの管理方法はどの様に行い、期限切れ間近のものはどの様に対処しているかを伺います。 3. 食品ロスを減らすため、最近では「ローリングストック法」「流通 | |

備蓄」などの考え方が取り入れられ始めているが、市として食品ロス減についてどのように考えているのかを伺います。

4. 社会資源の循環という観点から、期限切れ間近な備蓄食料を単純にばら撒くのではなく、福祉施設や地域イベントでの活用を図ってはと考えますが如何でしょうか。
5. 市内各学校で米飯給食は一月に10回程度提供されていますが、備蓄食料を取り入れる考えは如何でしょうか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

| 番号 | 主 題 |
|--|-------------------------------------|
| 2 | 今後の「給食センター建設」と「鷺津・新居中学校の規模縮小」構想について |
| 質 問 の 要 旨 | |
| <p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>教育施設地域拠点構想において、今後の方向性として「給食センター建設」と「小学校・中学校を一体化の施設にする」ことが方向づけられておりますが、先日の説明会では一部の地域から反対の声が上がるなどし、その後の動向が見えません。「まずは給食提供に係る諸問題の解決を図る為にセンター建設が最優先」との説明を受けましたが拠点構想に謳う平成 38 年度供給開始に間に合うのでしょうか。</p> <p>更には公共施設再配置計画の第 2 期に「鷺津・新居中学校の規模縮小」の検討が示されていますが、どの様な方法で推進するのでしょうか。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>地域の宝である子供たちの健やかな成長と安心して学ぶ事ができる教育環境を確保する為</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校給食提供は平成 38 年度までに給食センター方式で行う考えが示されていますが、センター方式と方向づけた経緯と現在の進捗状況を伺います。 2. センター方式採用において、PFI 方式などの設営方法の検討や学校以外の施設などへの提供などは検討されたのか伺います。 3. 公共施設再配置計画では第 2 期（2021～2025 年）を目途に鷺津幼保小中、新居小中をそれぞれ複合化し、鷺津・新居中学校は規模縮小の検討とされています。マンモス校における一体施設型の実現は可能なのでしょうか。予定避難所とされている点の考慮も必要だと思いますが、規模縮小をどの様に図るのか具体的な例を挙げて説明をお願いします。 | |

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

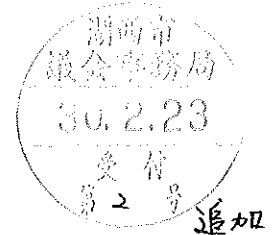
30年 2月 23日

前

午後 2 時 30 分 受付

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

30年 2月 23日



湖西市議会議長 二橋益良 様

湖西市議会議員 神谷里枝



| 質問方式 (○を付ける) | | 一問一答・一括の質問答弁・一括と一問一答 |
|-----------------|---------------------------|----------------------|
| 番号 | 主 題 | |
| 3 | 市長の施政方針について（「稼ぐ力の強化」について） | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

※ 質問の要旨は別紙参照

| 番号 | 主 題 |
|--|---------------------------|
| 3 | 市長の施政方針について（「稼ぐ力の強化」について） |
| 質 問 の 要 旨 | |
| <p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>移住定住の促進、人口減少対策や活気あるまちづくりの為に「職住近接」「稼ぐ力の強化」をキーワードに、①子育て支援の充実 ②産業の振興 ③観光・シティプロモーションの推進を重点事業とし「幸福度日本一のまちづくり」を目指す、とした市長の施政方針が公表されましたが、その中で「稼ぐ力の強化」として、どのように産業の振興、観光・シティプロモーションの推進をしていくのか詳細な施策を伺いたい。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>観光による「稼ぐ力の強化」推進のため</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 産業の振興、観光・シティプロモーションの推進を重点事業とするとのことであるが、これには「営業」という自治体にはない要素が求められ、民間企業との交流の場が必要となる。他自治体のように基本方針や推進本部を設置して「選ばれる自治体」を目指す考えは如何か。 2. 稼ぐ観光という観点から湖西市は中々特色が見いだせていない。現在浜名湖観光圏に参画しているが、浜松市に勝るとも劣らないアイデアをひねり出さなければ稼ぐ、活性化はできないと思うが、観光・シティプロモーションの推進の重点事業として、どのように浜名湖や遠州灘、また緑豊かな自然環境などの資源を活かした観光を創出するのか、市長のお考えを伺います。 | |

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

平成 30 年 2 月 15 日

前
午 9 時 44 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成 30 年 2 月 15 日

湖西市議会議長 二橋益良様

湖西市議会議員 渡辺 貢



| 質問方式 (○を付ける) | | <input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 ・ 一括の質問答弁 ・ 一括と一問一答 |
|-----------------|-----------------------|--|
| 番号 | 主 題 | |
| 1 | 先進事例から見た湖西病院の経営改革について | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

※ 質問の要旨は別紙参照

| 番号 | 主 題 |
|----|-----------------------|
| 1 | 先進事例から見た湖西病院の経営改革について |

質 問 の 要 旨

(質問しようとする背景や経緯)

湖西病院の経営赤字問題は、深刻な状況です。市政にとって、市民が安心して暮らせる医療の提供は極めて重要であり、欠くことの出来ない重要な施策の一つではありますが、一般会計からの支援にも限界があります。

既に経営改革に向け、新しい病院管理者を外部から迎え入れ、間もなく明らかになる全国自治体病院協議会へ委託した経営診断結果をも踏まえ、これまでとは違った抜本的な経営改革方針が示されるものと、大いに期待をしているところです。

私が所属する常任委員会では、去る1月下旬、総務省の公立病院経営改革事例集に掲載されている神奈川県三浦市立病院を訪問し、その取り組み内容と経過について伺って参りました。

三浦市立病院では、①赤字体質からの脱却、②医師不足の解消、③役割の明確化、を課題に掲げ、職員一丸となって存続の危機を乗り越えたそうです。

湖西病院もこれまで相当な努力をされてきており、既に取り組んでいる事項も少なくは無いとは思いますが、見習うべき点もあると考えます。

今回は特にお願いして、就任間もない病院管理者にも一緒に訪問して頂きましたので、三浦市立病院の事例を参考にしながら、今後の経営改革に対する考え方や方向性を確認させて頂きたいと思えます。

尚、神奈川県三浦市は人口約4万5千人、一般会計予算約163億円、市立病院の病床数136床で、本市よりもやや小規模ではありますが、類似団体であります。

(質問の目的)

大学病院から医師の派遣が得られなくなり、独自方式で地域医療に魅力を感じている医師集めに奔走したなど、置かれた環境や事情は異なる点もあるが、三浦病院の事例を湖西病院にも活かすことが可能かどうかを含め、その取り組み内容についての見解をお伺いし、今後の湖西病院の経営改革に対する考え方や方向性を確認させて頂きたい。

(質問事項)

1. 三浦市立病院では、市民が求める地域医療を担う本当に必要な機能だけを取捨選択。大学病院の意向に合わせた専門医の育成を断念し、地域住民の為の医療を目指した。このように「病院の持つべき機能と持たざる機能の明確化」が必要と考える。
湖西病院の機能の明確化に関し、現状と今後の在り方についての考えを伺う。
2. 地域包括ケア病棟設置の考えはあるか。
3. 市民ニーズは急性期から回復期、そして介護施設や在宅へと向かっている。
このような高齢化社会に於ける市民ニーズへの対応は、どのように考えているか。
4. 診療情報管理士、社会福祉士、作業療法士等の医療スタッフの積極採用に関する現状と課題は。
5. 電子カルテシステムを導入する考えはあるか。
6. 医師不足の中で総合診療医の養成・確保について、どのような取り組みを考えているか。
7. 病院職員が一丸となつての経営改革として、どのような取り組みをされているか。また課題は。
8. 湖西病院で行っている修学資金貸与制度について、現状と課題は。また見直しの考えはあるか。
9. 職員の処遇に関する課題事項はないか。
10. 医療収入とその給与比率についての課題事項はないか。
11. 三浦市立病院では一部の事務を病院独自のプロパー職員として採用するなど、事務職員の体制の見直しを行っている。湖西病院では事務職員の体制の見直しを行う考えはあるか。
12. 三浦市立病院では委託契約の1本化などでコスト削減を図っている。
湖西病院における委託契約や医療機器の購入方法に関する現状と見直しの検討はされているか。
13. 診療報酬点数の加算等に関する現状と課題は。
14. 「赤字体質からの脱却」、「医師不足の解消」、「役割の明確化」等々、夫々がいずれも関連性の深い大変困難な課題である。
病院事業管理者としての経営改革への意気込みを伺う。

一 般 質 問 通 告 書

30年 2月 15日

前
午 9時 50分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成30年2月15日

湖西市議会議長 二橋益良 様

湖西市議会議員 荻野利明



| 質問方式 (○を付ける) | 一問一答・一括の質問答弁・一括と一問一答 |
|-----------------|----------------------|
| 番号 | 主 題 |
| 1 | 公契約条例制定について |
| 2 | 小・中学校での普通教室の暑さ対策について |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

※ 質問の要旨は別紙参照

| 番号 | 主 題 |
|--|-------------|
| 1 | 公契約条例制定について |
| 質 問 の 要 旨 | |
| <p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>中小・小規模企業を取り巻く社会環境は非常に厳しい状況にあります。そしてそこに多くの市民が働いています。市が発注する事業・役務は落札企業、関連する中小・小規模企業の繁栄、そこで働く労働者の賃金底上げをしなければなりません。それを保障する公正な発注ルール（公契約）で入札を行うことは税収面でも自治体財政を支え、またそれは「住みつづけたい湖西市」の土台にもなります。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>公契約条例を制定することで、適正な競争で良質なサービスを実現し、労働条件の改善（賃金の底上げ）をはかるため。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1、公契約条例を制定する考えはないか。</p> | |

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

| 番号 | 主 題 |
|----|----------------------|
| 2 | 小・中学校での普通教室の暑さ対策について |

質 問 の 要 旨

(質問しようとする背景や経緯)

近年、地球温暖化の影響等により、全国的に夏季の暑さが非常に厳しくなっている。文部科学省の定める学校環境衛生基準において、教室内の温度は30℃以下が望ましいとされている。

猛暑の中では、児童・生徒の学習意欲や集中力が低下し、教育環境に適しているとは言いがたい。全国公立小・中学校における普通教室空調設備の設置率は、平成29年4月1日で49.6%（静岡県は7.9%）となっている。

(質問の目的)

児童・生徒の学習意欲や集中力が低下し、熱中症の可能性もある教育環境が決していいとは思えない。浜松市も普通教室へのエアコン設置を決めている。湖西市でも早急にエアコンを設置する必要がある。

(質問事項)

- 1、全国公立小・中学校における普通教室空調設備の設置率は、昨年4月1日で49.6%となっているが、この数字をどう捉えているか。
- 2、静岡県の普通教室における設置率は7.9%となっているが、なぜこんなに低いのか、原因は何か。
- 3、湖西市内の小・中学校の夏場の室内温度を調べているか30℃を超える日の対策はきちんと行われているか。
- 4、教育環境の整備は市の責任です。エアコンの設置を強く望むが、お考えはいかがでしょうか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

平成30年 2月 15日

前
午1時20分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

平成30年 2月 15日

湖西市議会議長 二橋 益良 様

湖西市議会議員 竹内 祐子



| 質問方式 (○を付ける) | |
|----------------------|--------------------|
| 一問一答・一括の質問答弁・一括と一問一答 | |
| 番号 | 主 題 |
| 1 | 湖西市定住自立圏共生ビジョンについて |
| 2 | 入札について |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

※ 質問の要旨は別紙参照

| 番号 | 主 題 |
|--|--------------------|
| 1 | 湖西市定住自立圏共生ビジョンについて |
| 質 問 の 要 旨 | |
| <p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>平成 20 年 12 月 総務省が定住自立圏構想推進要綱を制定。総務省は「定住自立圏」の推進に取り組む市町村への財政支援を拡充する方針を固めた。定住自立圏は、地方で進む高齢化と都市部への人口流出に歯止めをかけるため、人口 4 万人以上の「中心市」と近隣の市町村が協定を結び医療や交通、産業などの分野で相互連携する構想。</p> <p>総務省は年間で、中心市に 1 市あたり 4000 万円、近隣市町村に 1000 万円を特別交付税で財政支援している。(平成 26 年度からは 4000 万円→8500 万円。1000 万円→1500 万円 ; 計画期間は 5 年間)</p> <p>湖西市において「定住」のための暮らしに必要な機能を確保し、魅力あふれる自立した圏域を形成することを目的として、湖西地域と新居地域が互いに連携・協力し、湖西市が目指す将来像を実現するための「湖西市定住自立圏共生ビジョン」を平成 25 年 10 月に策定。</p> <p>このビジョンについて、平成 29 年度で当初の計画期間が終わるため 2 月 1 日から湖西市定住自立圏共生ビジョン「第 2 次」(案)のパブリックコメントの募集がされている。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>定住自立圏形成方針に基づき、定住自立圏共生ビジョンを推進することで人口の流出を止め、若者も高齢者も住んでよかったと思える地域づくりを目指すため。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 湖西地域と新居地域が互いに連携、協力しあい成果が出ているものは何かあるか。また、課題は何か。 2. 上位計画である新・総合計画を推進するためにも、ビジョンの見直しに当たっては総合計画や総合戦略など他の計画との整合や連動は図られたか。 | |

3. 共生ビジョンを策定することで受けられる、国からの財政支援はあったか。また、それは今までにどのくらいか。
4. 事業一覧には若者が都市部へ流出しないようにするための方策についてうたわれていないが、検討されなかったのか。
5. 定住自立圏の取り組みを推進するための方策を伺う。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

| 番号 | 主 題 |
|--|--------|
| 2 | 入札について |
| 質 問 の 要 旨 | |
| <p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>1月29日の議員全員協議会で、水道の配水管工事2件の入札で下限となる最低制限価格を誤って算定したことの報告を受けた。2件とも正しく算定されていれば落札業者が変わっていることになる。</p> <p>1件目は、11月17日に業者から問い合わせがあったが「違算なし」と回答。その後、同者の開示請求により12月18日に設計違算が判明。</p> <p>2件目についても業者からの問い合わせでわかったものである。</p> <p>どちらも工事は始まっていないため契約を解除して入札をやり直すことにした。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>積算ミスを起こさないための仕組みと対策マニュアルをつくり、再発防止について徹底してもらうため</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 11月17日に設計違算があるのではないかと、問い合わせがあった時「違算なし」と何人で判断したか。 2. 当初の落札者、本来落札者となる業者への対応を伺う。 3. 再公告入札するとした理由を伺う。 4. 再発防止策はいつまでに作られるか伺う。 | |

※ 質問の要旨は具体的に記入すること